

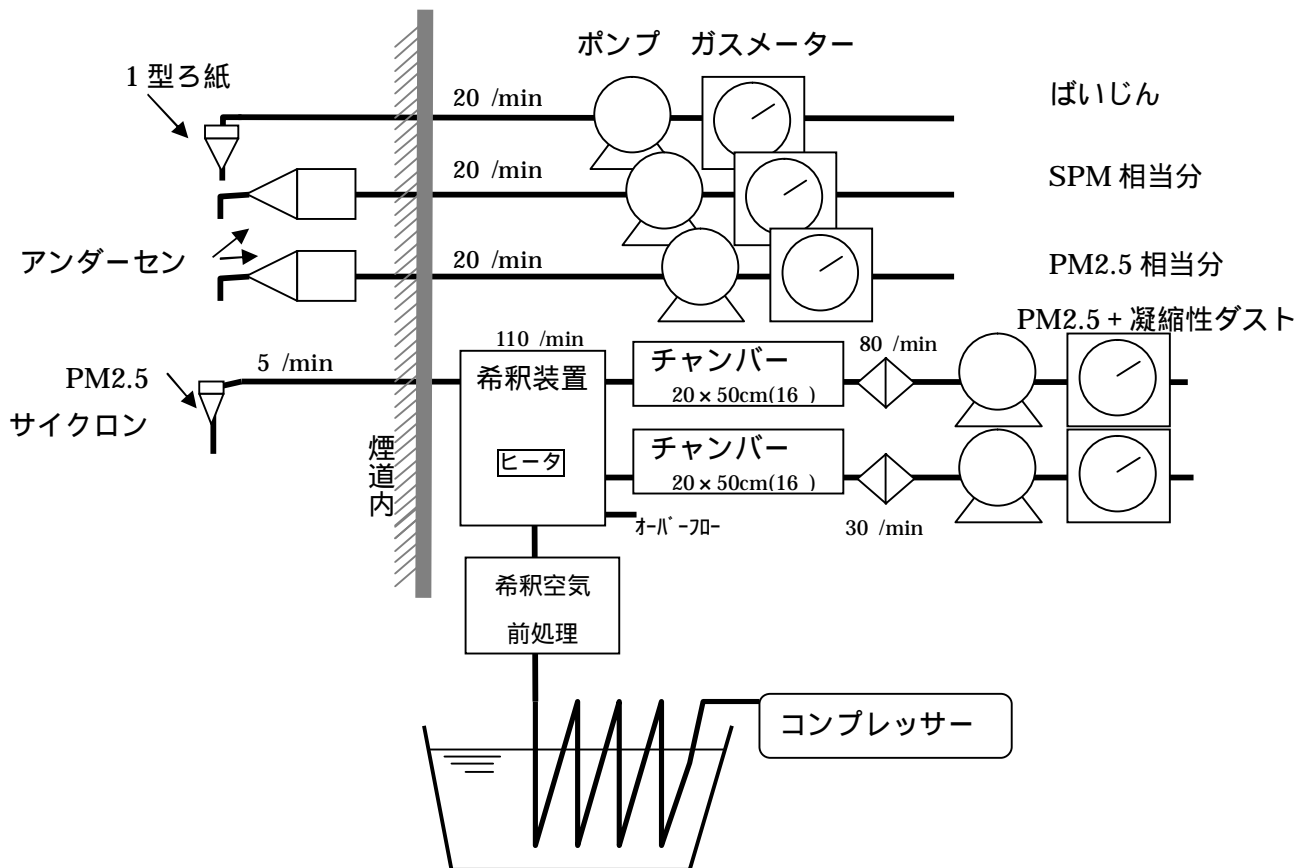
発生源調査方法

1 試料採取方法

(1) 燃焼施設・廃棄物焼却炉

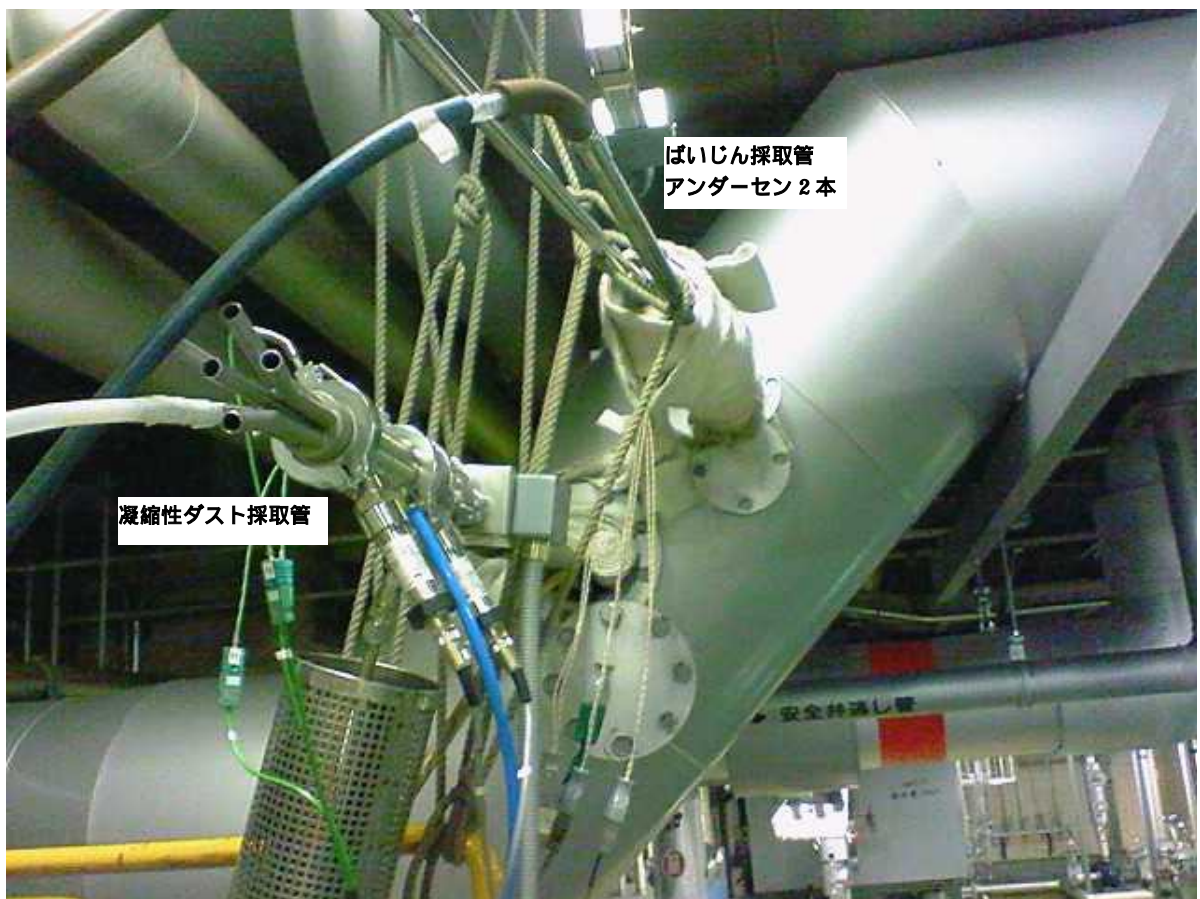
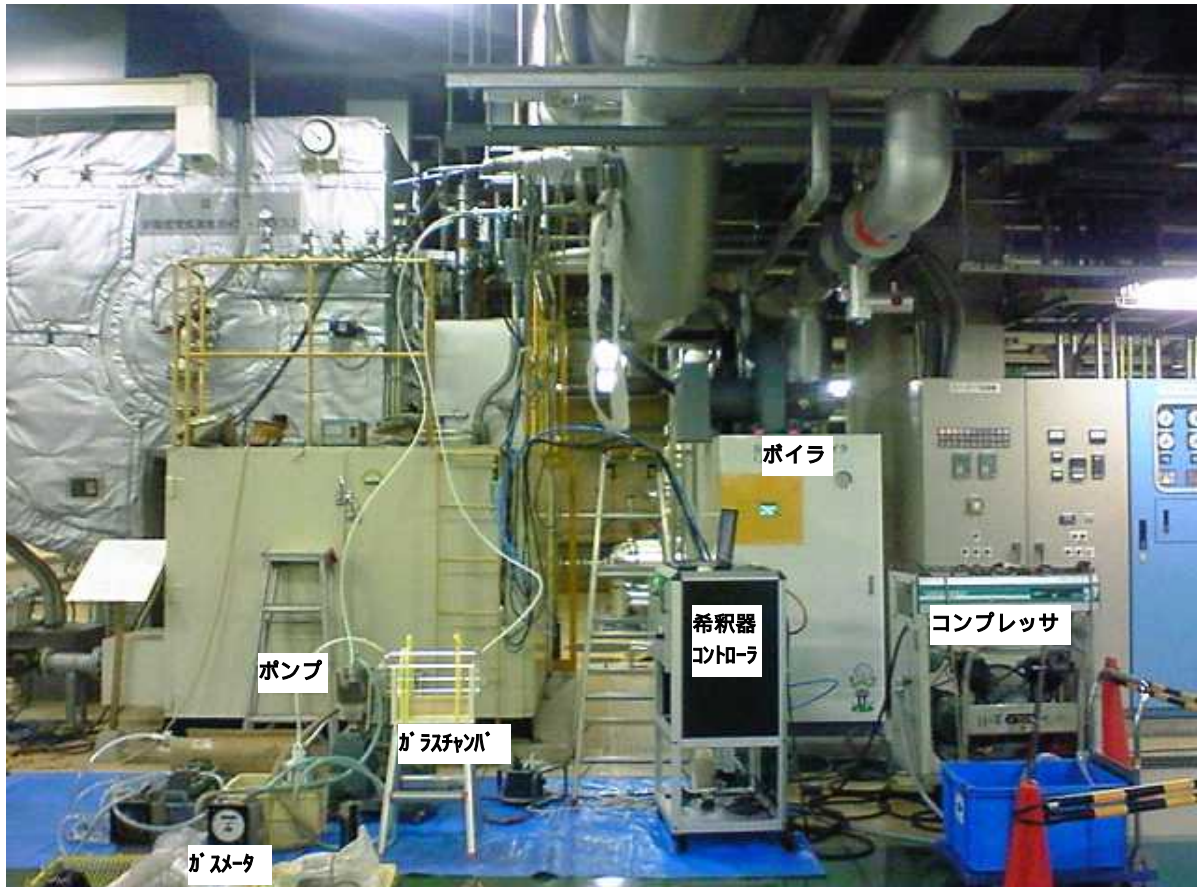
区分	採取方法
ばいじん	JIS Z 8808：普通型手動採取装置
SPM(PM7)相当分	JIS K 0302「排ガス中のダスト粒径分布の測定方法」： アンダーセンスタックサンプラーの分級板を選択して使用する ことにより、目的の粒分をバックアップフィルターに採取。
PM2.5 相当分	
凝縮性ダスト (PM2.5 含む)	空気気積法：Dekati 社製希釈装置により、PM2.5 サイクロン を通過した排ガスを清浄空気で 20 倍以上に希釈。その後滞留 時間を 10 秒以上とりフィルターに採取。排ガス温度は 200 から 30 以下に冷却される。C ₁₄ 用試料もこの方法で採取。

は原則として煙道内にろ紙を設置（物理的に不可能な場合は煙道外に設置）



測定イメージ図

ボイラにおける測定状況



廃棄物焼却炉における測定状況



(2) 厨房

原則として燃焼施設の方法と同じ。ただし、排出ガス温度が低いため凝縮性ダストは採取しない。C14用試料は簡易型PM2.5環境試料採取装置により採取。

(3) 地下街

地下街はダクトからの採取が困難であったため、環境試料採取装置(FRM)により採取を行った。C14用試料は簡易型PM2.5環境試料採取装置により採取した。

区分	方法
ばいじん相当分	インパクター使用せず
SPM	SPM用インパクターを使用
PM2.5	PM2.5用インパクターを使用(FRM標準)

凝縮性ダストは採取せず。



(4) 自動車排出ガス

シャシダイナモにおいて、原則として東京都実走行パターン No.5 を繰り返し走行し、希釈トンネルからフィルターに採取した。

車種	車両総重量	規制年次	型式	排出ガス対策
ディーゼルトラック	7,135kg	新長期規制	BDG-XZU414M	EGR+DPF
ディーゼルトラック	7,980kg	新長期規制	PDG-FK64F	EGR+DPF
ディーゼルトラック	24,970kg	新長期規制	BDG-FS54JZ	EGR+尿素触媒
都バス	12,680kg	長期規制	KL-HR1JNEE	EGR+酸化触媒
ガソリン車(予定)				



(5) 巻き上げ粉塵・土壌

巻き上げ粉塵用試料として、自排局前の道路端において刷毛等で堆積物を採取する。

土壌は、一般局の周辺（グラウンド、公園、寺社、校庭、植え込み等；裸地が望ましい）において表層土壌を採取する。

これらを、適宜混合し、再飛散させて、FRM サンプラー（PM2.5）及び多段式分粒装置（SPM）を用いてろ紙に採取する。

2 秤量方法

区分	方法
ばいじん	JIS に従い、105 で恒量後、秤量 暫定マニュアルに従い、20 50%で恒量後、秤量
SPM 相当分	
PM2.5 相当分	
凝縮性ダスト	暫定マニュアルに従い、20 50%で恒量後、秤量
非燃焼施設の試料	